

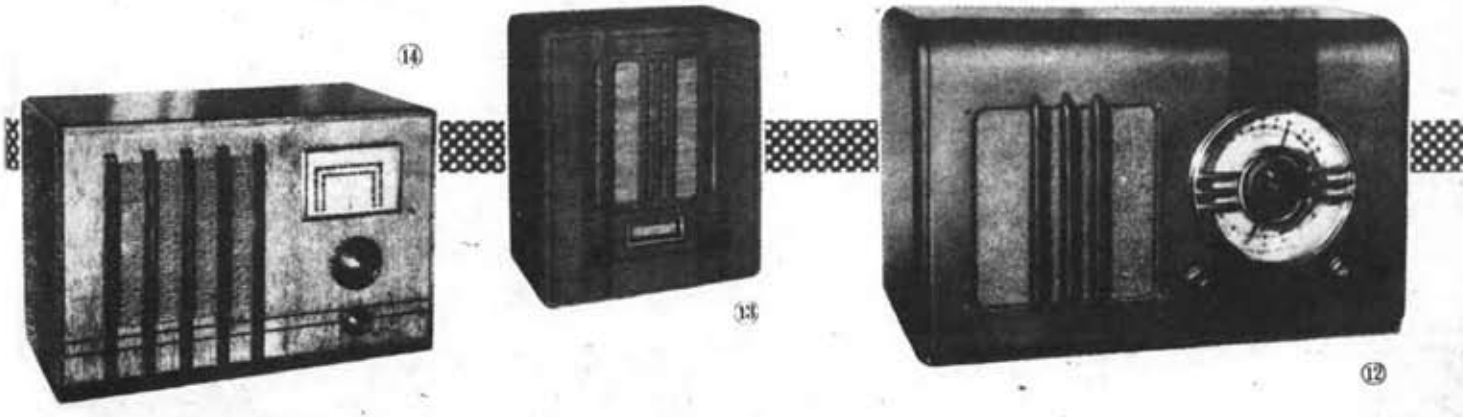
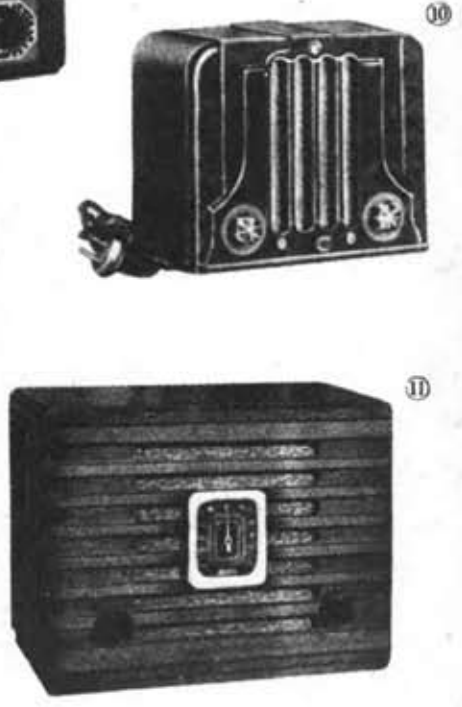
**私は誰てしよう?**  
 (写真と照合して御覧下さい)

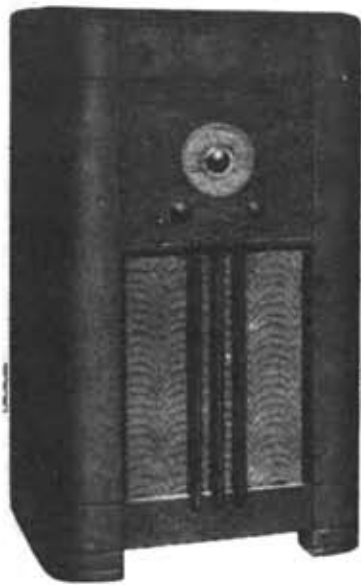
①創生期のナショナルラジオ、キャビネットはメタル製——この次から前頁の煉物製に移った(昭和六年)  
 ②新ミゼット型と呼ばれ三球と四球のセプトがあつた(昭和七—八年)  
 ③常選型と呼ばれ、一般から募集した一五〇〇のデザイン中から一等當選のもの(昭和七年)

・昭和十年海外放送の創始と、十一年のベルリンオリンピック放送と云う放送史上劃期的な時代を背景にしてスタートとした④ライナー型R-4⑤K-1⑥R-10⑦GR-100コンソール⑧新K-1⑨古典スパニッシュ風のK-6型⑩アラステック製の超小型ラジオR-11(何れも昭和九年から十一年製品)⑪R-3D⑫型の三球ペントードで當時雄渾な音質を誇つたもの(昭和十二年頃)

・マダネテック時代からゲイナミック時代にうつる昭和十二年の動向をキツクテ生れた⑬Z-4(三球ゲイナミック)・⑭はローリング・ゲイナルの魅力を生んだZ-2、⑮は近代的な意匠を誇つた遠距離用のZ-3型國民受信機

昭和十四—十五年のラジオ界を震盪した6S-10(六球スーパー)⑯は同じくNZ-4(三球ゲイナミック)





17



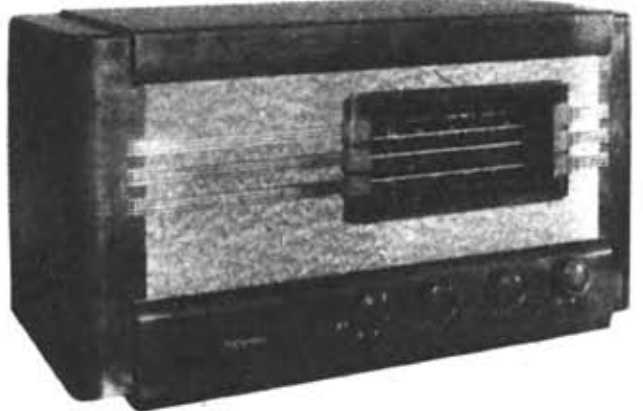
16



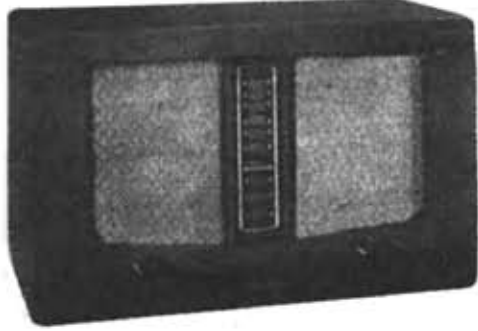
15



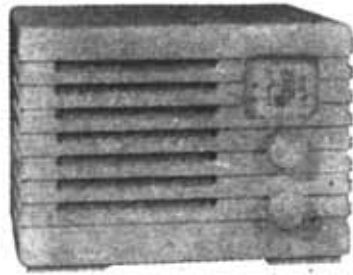
18



19

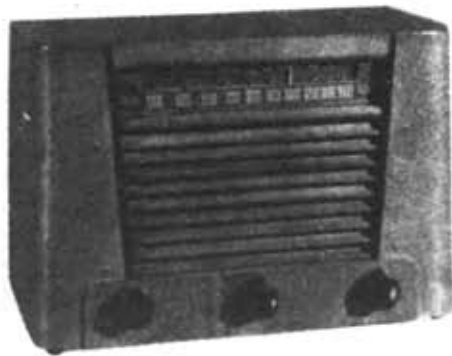


21

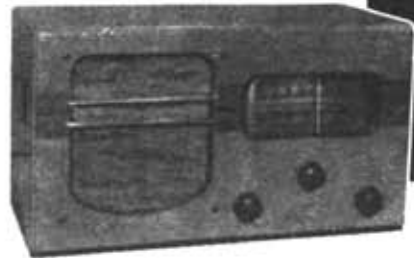


20

15 GR-561と被  
 51・561と被  
 た電器・18はGR  
 40型のグラムホ  
 ン。當時の好評は  
 未だ耳底に新しい  
 以下は既に御承知  
 の終産後の新製品  
 19 SA-11(八球  
 1ルウネー) 20  
 4D-112(ハ  
 1ンナルラジヤ)  
 21 S-15(五球  
 1ハ) 22 5D-115(五  
 球ダイヤナミック)  
 23 S-16(高級五  
 球ネーハ) 24  
 GR-503  
 25 SA-12(サークルウエーブ)



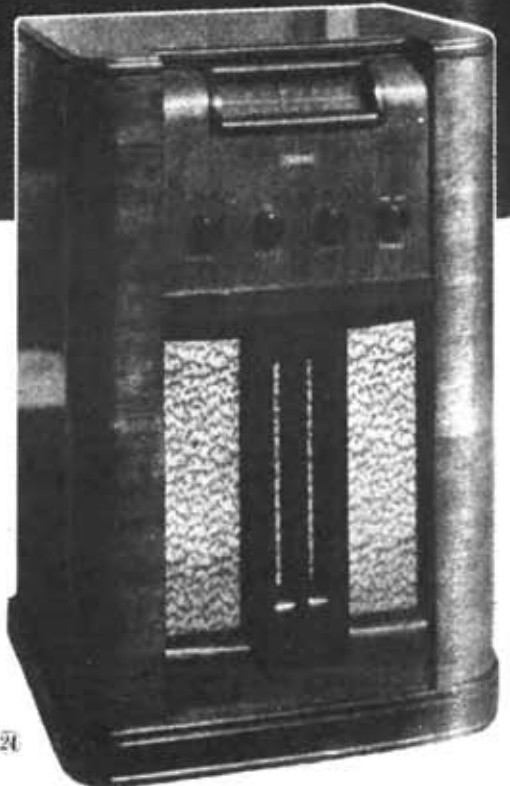
23



22



25



24